

平成 27 年度座談会「町長と語ろうまちづくり」(平山地区)

開催日時	平成 27 年 11 月 26 日 (木) 午後 7 時から午後 8 時 55 分	天気 晴れ
場所	平山集会所	
町民参加者	男 19 人 女 10 人 (40 代以下 2 人、50 代 5 人、60 代以上 22 人)	
町出席者	町長、副町長、教育長、参事兼企画財政課長、総務防災課長、政策秘書課長、参事兼都市整備課長、商工観光課長、事務局 2 人	

出席者から出された主な意見や提案

《テーマ：町政全般》

- プレミアム商品券を今後また販売をする可能性はあるのか。
- 自治会について、世帯の少ない自治会の統合などについては考えているのか。
- 水道管について、最初は石綿管を敷設したと思うが、今はどのくらい鑄鉄管に更新されているのか。また、県境にある透間地区と静岡県の小山町との水道管は繋がっているのか。
- 土砂災害警戒区域について、勝手に県が指定をしてその後については個人で整備をしと言われてもできない。他の市町村では個人で対応できない箇所については県で行うようにしているところもある。指定したのなら指定したところが整備するべきだと県に強く伝えてもらいたい。
- 平山地区の避難所は集会所と大型バス駐車場となっているが、土砂災害の危険がある場所であったりそこからの距離が近かったりする。平山工業団地に立地している企業に避難場所を提供していただくようお願いして欲しい。
- 土砂災害警戒区域について、傾斜がきつそうでも指定されていないところがあるが他に何か基準があるのか。また、災害特別警戒区域というものは山北町にはないか。
- 県道山北藤野線の犬越路から先について通行はできないのか。また、玄倉から松田町の寄へ抜ける秦野峠林道については今現在どうなっているのか。
- 洒水の滝について、ボーリング調査が入ると聞いたが本当か。
- 土砂災害警戒マップについて、平山地区の避難場所を記載したものを作成してもらいたい。

○災害時の各企業の協力について、企業と自治会とで災害協定を結んでいただけるとしてもらいたい。

○平山地区では3年前に子ども会が解散した。山子連も消滅した。子どもが少なくなり兄弟で遊ぶことも減少している中で、子ども会に代わるような異学年交流などの場を作る必要があるのではないか。

○町内には数多くイベントがある。子供がイベントに参加するようなカリキュラムを作る考えはあるか。

○出産をする環境の関係で、秦野にある赤十字病院が出産の受け入れを取りやめ、松田にある足柄上病院と小田原の市立病院が月に数名の受け入れとなっているため、この地域での里帰り出産ができない状態になりつつある。山北町は子育て制度についてはとても充実しているが、病院に対して産婦人科の充実を働きかけてもらいたい。